

世界を、もっとフラットに。

FUJITEC



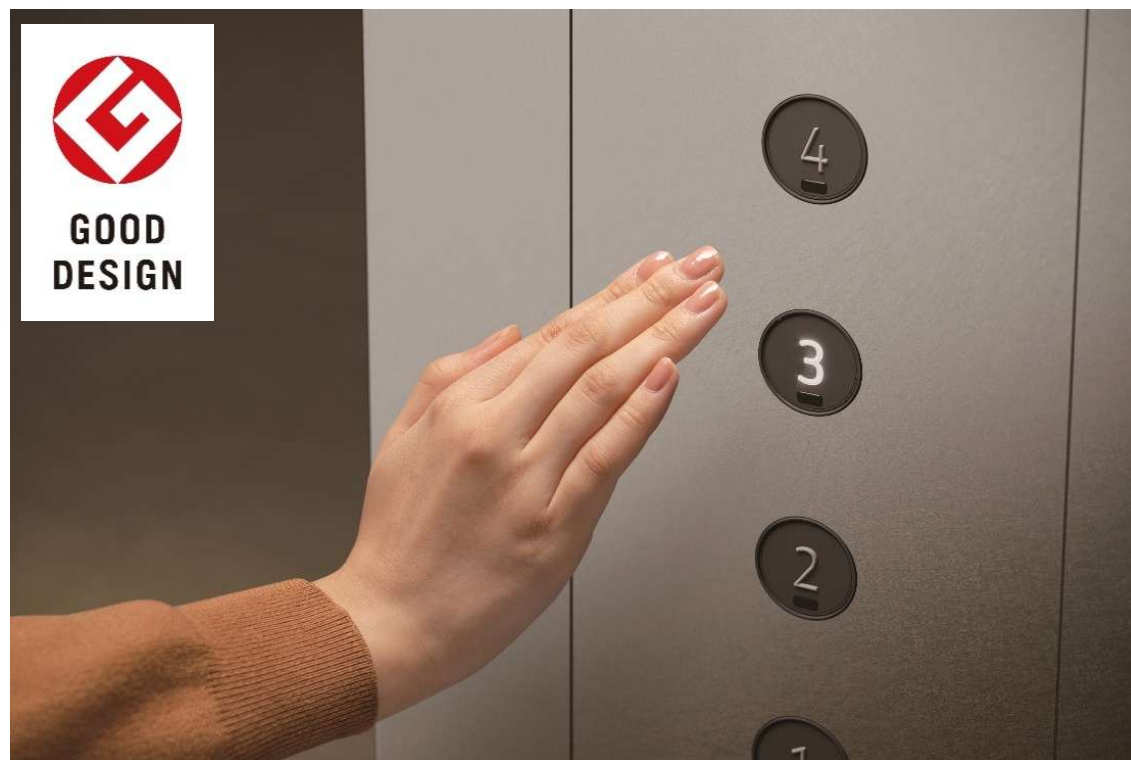
2026年3月期第2四半期 連結業績概要

(2025年4月1日から2025年9月30日まで)

2025年11月7日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)



Elê Glance エレ・グランズ

2026年3月期第2四半期連結業績概況

◆ 受注高と営業利益は引き続き過去最高額を更新、売上高は微減だが、為替の影響を除くと増収

- 受注高は1,400億円（前年同期比9.3%増）：日本、南アジア、米州・欧州で過去最高を更新
- 売上高は1,154億円（前年同期比1.1%減）：日本と南アジアで過去最高更新も、東アジアと米州・欧州が減収
- 営業利益は114億円（前年同期比25.4億円増）：日本と米州・欧州で過去最高を更新
- 営業利益率は9.9%（前年同期比+2.3P）：過去最高を更新

中期経営計画「*Move On 5*」の進捗状況

Mid-Term BUSINESS PLAN 2024-2028

◆ 各セグメントで事業成長のための施策を着実に実行

- 「エレ・グランス」の設計を自動化
- 国内向け標準型エレベータ「エレ・グランス」を初出荷
- インドのチェンナイ本社とアーメダバードで研修施設を更新・新設
- 「ブランド強化」の取り組みの1つとして、ブランドビジョン・ブランドステートメントを策定

2026年3月期第2四半期連結業績概況

第2四半期 連結業績ハイライト

受注高および営業利益をはじめ全利益項目が第2四半期として過去最高を更新。
売上高は前年比微減も、為替影響を除くと増収

(金額単位：百万円未満切捨)

	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	増減率(%)
受注高	128,054	140,008	9.3
売上高	116,759	115,417	▲1.1
営業利益	8,861	11,410	28.8
経常利益	10,723	12,653	18.0
親会社株主に帰属する 中間純利益	8,199	9,174	11.9
1株当たり中間純利益	105.08円	117.55円	-

対米ドル円為替レート

150.85円

149.71円

第2四半期 セグメント別業績ハイライト

世界を、もっとフラットに。



受注高は日本、南アジア、米州・欧州で、営業利益は日本と米州・欧州で過去最高を更新

<事業別>

(金額単位：百万円未満切捨)

	受注			売上高		
	2025年3月期2Q	2026年3月期2Q	増減率(%)	2025年3月期2Q	2026年3月期2Q	増減率(%)
新設	46,918	54,473	16.1	46,690	41,204	▲11.7
アフターマーケット	78,865	83,315	5.6	68,334	72,281	5.8
その他・調整額	2,271	2,220	-	1,734	1,931	-
合計	128,054	140,008	9.3	116,759	115,417	▲1.1

<エリア別>

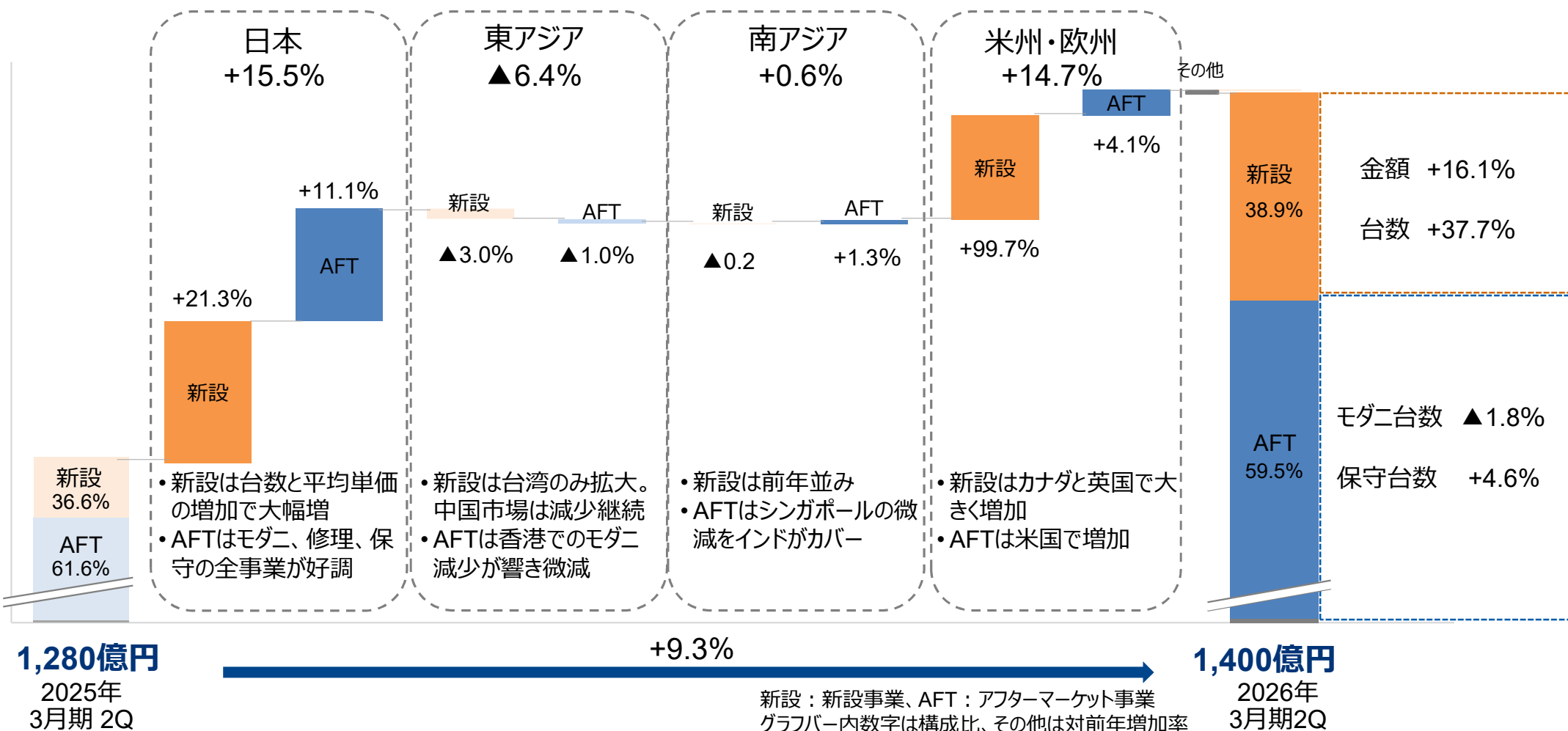
	受注			売上高			営業利益		
	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	増減率 (%)	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	増減率 (%)	2025年 3月期2Q	2026年 3月期2Q	増減額
日 本	55,198	63,737	15.5	43,640	47,036	7.8	3,664	6,116	2,452
東 ア ジ ア	33,381	31,255	▲6.4	35,031	31,772	▲9.3	1,242	2,035	792
南 ア ジ ア	21,997	22,136	0.6	18,172	18,667	2.7	3,341	2,166	▲1,174
米 州 ・ 欧 州	25,096	28,779	14.7	27,150	25,232	▲7.1	700	983	283
調 整 額	▲7,620	▲5,900	-	▲7,234	▲7,291	-	▲86	108	195
合 計	128,054	140,008	9.3	116,759	115,417	▲1.1	8,861	11,410	2,548

第2四半期 受注高ブレークダウン

世界を、もっとフラットに。

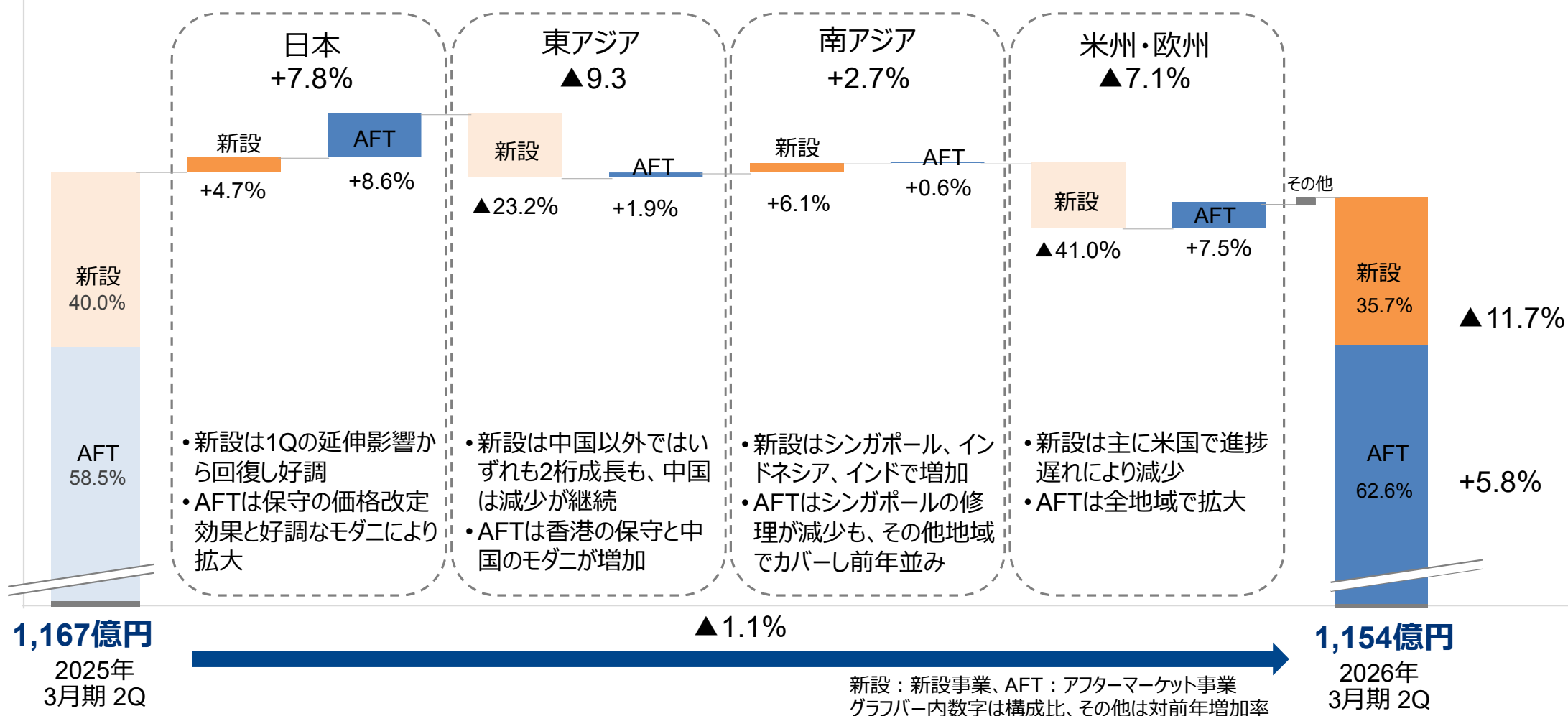


受注は日本、米州・欧州で大幅に増加し、東アジアを除くすべての地域で過去最高を更新



第2四半期 売上高ブレークダウン

**第2四半期売上高は日本と南アジアでは過去最高を更新も、東アジアと米州・欧州の影響で前年比微減。
ただし、為替の影響を除くと全体では前年比増**

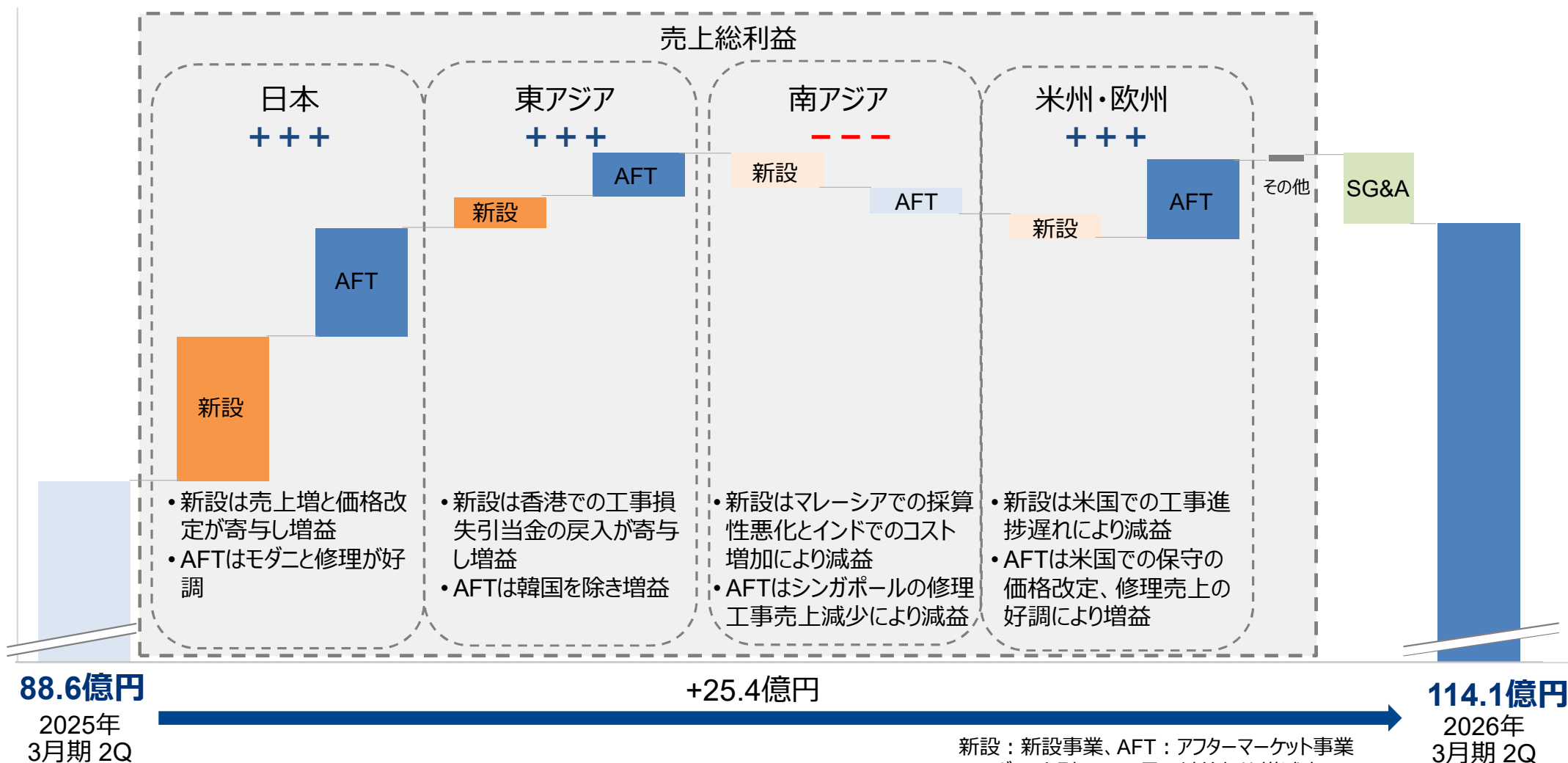


第2四半期 営業利益ブレークダウン

世界を、もっとフラットに。



第2四半期営業利益額は南アジアを除き全地域で大幅に増益、3期連続で過去最高を更新。



トピックス：中期経営計画「**Move On 5**」の推進状況

Mid-Term BUSINESS PLAN 2024-2028

世界を、もっとフラットに。



「Move On 5」の目標達成に向け、各種施策を着実に実行

標準型エレベータ「エレ・グラン」の設計を自動化

- 25年4月に販売開始した標準型エレベータ「エレ・グラン」の設計業務に自社開発の「作図オートメーションシステム」を導入し、図面作成を自動化
- 顧客への対応スピード向上と、設計品質の安定化を実現。



フジテック・インドが研修施設を更新・新設

- フジテック・インドで、チェンナイ本社のFujitec Skill Development Centre（フジテックスキル開発センター）を刷新するとともに、北西部エリア向けには Ahmedabad Skill Development Centre（アーメダバードスキル開発センター）を新設
- 最新の学習ツールと、最新の実践的な治具を備え、本社では一度に100名規模、アーメダバードでは30名規模の研修が可能で、今後のインドの事業拡大へ寄与

「エレ・グラン」を初出荷

- 9月18日に標準型エレベータ「エレ・グラン」を初出荷。初出荷式を生産拠点であるビッグウイングにて開催



研修施設のロゴ



実践研修用のマシン



安全設備類

トピックス：ブランドビジョン・ブランドステートメントの策定

世界を、もっとフラットに。



Move On 5の施策「強靱な事業基盤の構築」における「各本部テーマ」の1つである「ブランド強化」の取り組みとして、ブランドステートメントとブランドビジョンを日英で制作。

<ブランドステートメント>

経営理念に掲げた「新しい時代にふさわしい美しい都市機能を、世界の国々で、世界の人々とともに創る」における「美しい都市機能」がどのような姿であるかを私たちのDNAに刻まれた「思いを想像する力」と「寄り添い実現する力」という言葉とともに表現

街の便利な暮らしを、たった数段の階段に阻まれる人がいる。
安全や安心を、高低差に脅かされる人がいる。
だから、フジテックは昇降機をつくる。
それは、ただ人を上や下にする装置ではありません。
街を、フラットにする動力です。
年齢を、障がいのあるなしを、国ごとの豊かさの差を超え、
みんながフラットに、街の暮らしを楽しめる。
安全、安心を享受しながら、
行きたい場所へ行き、やりたいことを実現できる。
DNAに刻まれた「思いを想像する力」と「寄り添い実現する力」で、
そんな「美しい都市機能」を実現していく。
世界の国々で、世界の人々とともに。
わたしたちは、信じています。
昇降機は、人類すべてをリフトアップするためにある。

<ブランドビジョン>

ブランドステートメントで語られる私たちの想いを、よりわかりやすく一言で表現したメッセージ。
すべてのステークホルダーとより「フラット」な世界を目指すという社内外への約束を示したもの。

世界を、もっとフラットに。

FUJITEC



フジテックのマスコットキャラクター 「テッキー」

安全・安心な商品とサービスを目指すフジテックのシンボル。安全・安心の頭文字を表す“A”から生まれたキャラクター

主な受注案件

世界を、もっとフラットに。



新設

北仲通北地区B-1地区再開発（日本・神奈川）
エレベータ 18台 エスカレータ 2台 合計20台

モダンゼーション

京セラドーム大阪 館内 EV1・2号機リニューアル工事（日本・大阪）
エレベータ 2台
※他社製エレベータの制御モダンゼーション

新設

Signature Global (インド)
エレベータ 698台

新設

Godreji Horizon (インド)
エレベータ 39台

新設

60 Gracechurch Street Project (UK)
エレベータ 22台 エスカレータ 4台 合計26台
※2 階建てエレベータ（ダブルデッキエレベータ）を含む

新設

Banmu Ye Cun (台湾)
エレベータ 152台



北仲通北地区B-1地区再開発
（日本・神奈川）



Signature Global
(インド)



60 Gracechurch
Street Project
(UK)



Godreji Horizon
(インド)



参考資料

連結貸借対照表

世界を、もっとフラットに。



(金額単位：百万円未満切捨)

	2025年3月31日	2025年9月30日	増減額	備考
流動資産	195,424	186,089	▲9,334	
現金及び預金	82,942	77,283	▲5,659	東アジア、南アジアでの減少
受取手形、売掛金及び契約資産	90,343	80,667	▲9,676	東アジア、米州・欧州で減少
有価証券	-	6,000	6,000	譲渡性預金
棚卸資産	21,451	21,252	▲198	
その他	6,519	6,744	225	
貸倒引当金	▲5,833	▲5,858	▲25	
固定資産	66,833	65,941	▲892	
有形固定資産	44,325	43,114	▲1,210	設備投資額+1,991、減価償却費▲2,214、為替ほか▲987
無形固定資産	5,803	5,309	▲494	
投資その他の資産	16,705	17,517	812	
総資産	262,257	252,031	▲10,226	
流動負債	87,238	81,409	▲5,829	支払手形及び買掛金▲2,857、工事損失引当金▲2,425
固定負債	4,383	4,585	201	
純資産	170,635	166,036	▲4,598	利益剰余金+2,150、為替換算調整勘定▲6,002
自己資本比率	59.3%	60.6%	1.3pt	
B P S	1,994.06円	1,957.42円	▲36.64円	

主な納入実績

世界を、もっとフラットに。

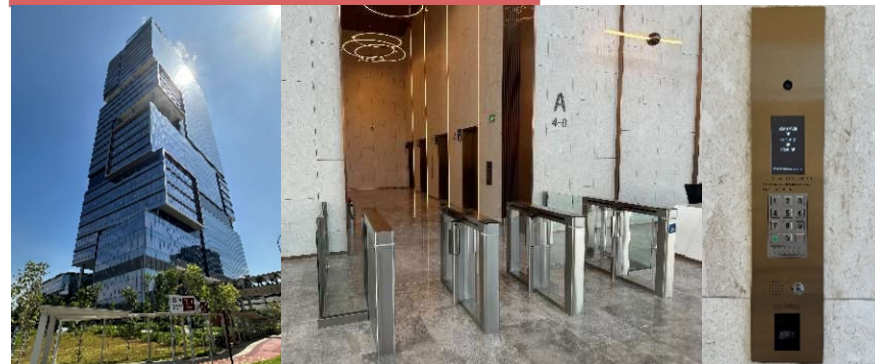


新設



三井ショッピングパーク ららぽーと安城（日本・愛知）
エレベータ 19台 エスカレータ 22台 合計41台

新設



ラブラドルタワー（シンガポール）
エレベータ 24台 エスカレータ 2台 計26台
※行先階登録システム「EZ-SHUTTLE（イージーシャトル）」を採用

新設



鶴峰南渡江景区（中国）
エレベータ 4台 エスカレータ 10台 合計 14台
※高さ24mのエスカレータ2台を含む

新設

ラビスタ熱海テラス（日本・静岡）
エレベータ 14台

新設

Farglory Construction (9 Jobs)（台湾）
エレベータ 79台

モダニゼーション

Four Seasons Hotel（米国）
エレベータ 15台

社 名	フジテック株式会社
設 立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場、2022年4月東証プライム市場移行)
本 社	ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資 本 金	125億33百万円（発行済株式数78,900,000株）
役 員	代表取締役社長 原田 政佳 取締役：9名（うち社外6名） 監査役：4名（うち社外2名）
従業員数	連結 12,066名（単独 3,454名）
関係会社	39社（内、連結子会社24社） （日本、米州、東アジア、南アジア、欧州、中近東）

街の便利な暮らしを、たった数段の階段に阻まれる人がいる。

安全や安心を、高低差に脅かされる人がいる。

だから、フジテックは昇降機をつくる。

それは、ただ人を上や下にする装置ではありません。

街を、フラットにする動力です。

年齢を、障がいのあるなしを、国ごとの豊かさの差を超え、

みんながフラットに、街の暮らしを楽しめる。

安全、安心を享受しながら、

行きたい場所へ行き、やりたいことを実現できる。

DNAに刻まれた「思いを想像する力」と「寄り添い実現する力」で、

そんな「美しい都市機能」を実現していく。

世界の国々で、世界の人々とともに。

わたしたちは、信じています。

昇降機は、人類すべてをリフトアップするためにある。

世界を、もっとフラットに。

FUJITEC



将来展望に関する記述等についての注意事項

世界を、もっとフラットに。

FUJITEC



本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2025年11月7日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2025年11月7日

フジテック株式会社

2026年3月期2四半期連結業績概要